NPO法人こんぶくろ池自然の森

2026年度　定例活動報告書

実施日時:　11月7日　（土）9:00～12:00
天候:　晴れ
報告者:　上田・中川 望

項番	作業内容	従事人数

本日は秋の「里山保全活動体験会」の2日目。Aさんが活動を体験され、大変嬉しいことに体験終了後に当NPOに入会されました。　本日の活動にはAさんをはじめ24名が参加し、①当園名看板の設置、②活動体験参加の方への当園及び当NPOの説明、③森林内仮置きの丸太の運び出し、④ヌマガヤの開花株数カウント（ふじ池周辺）、⑤自生ズミの結実確認と整備（掩体壕西・野間土手の東）、⑥ナラ枯れ被害木の生存・枯死調査（南2区）、⑦ノジトラノオエリアの除草、⑧チョウのモニタリング調査、⑨ワタラセツリフネエリアの公道沿い駐輪場の整備、⑩自然観察、等々の活動を行いました。

1 当園名看板の設置　　11名

5月に資材準備に着手し、7月頃より製作を開始した2代目の当園名看板が前回の活動日（10/25）に完成しましたので、本日ワタラセツリフネエリアに設置しました。
設置終了後、支柱横に本日の日付を記しました。






2 活動体験参加の方への当園及び当NPOの説明　　1名

活動体験参加のAさんに、当園及び当NPOの説明を行ないました。Aさんは、活動体験終了後に当NPOに入会されました。
（写真はございません）

3 森林内仮置きの丸太の運び出し　　8名

8番路沿いロープ柵内に仮置きしていた玉切り後丸太をリヤカーに積んで管理棟前に運び出しました。また、その丸太の一部を使用して休憩用腰掛けを3個設置しました。




4 ヌマガヤ[千葉県RDB:B（重要保護生物）]の開花株数カウント（ふじ池周辺）　　4名

ヌマガヤの生育株数　（　）内が開花株数

	2024年度	2025年度	2026年度
こんぶくろ池周辺	28(0)	22(0)	17(0)
弁天水路岸辺	10(7)	13(10)	13(10)
ふじ池周辺	167(7)	160(33)	147(24)

貧栄養な湿性環境を好むとされるヌマガヤの生育株数が、こんぶくろ池周辺で目に見えて減少し2020年度から生育株数調査を開始し、2023年から開花株数も併せて調査している。
こんぶくろ池周辺、弁天水路岸辺調査は9/27に実施した。
ふじ池周辺調査は、10/3以降活動日に予定していたが、今年はぬかるみが深く調査できない状態が続き約1か月延期した。





ふじ池周辺のヌマガヤ
今年は、ぬかるみに倒れた個体が散見された。

株が大きく開花率が高い
弁天水路岸辺のヌマガヤ

参加者　24名　（　会員　24名　）

項番	作業内容	従事人数
5	自生ズミ[千葉県RDB:B(重要保護生物)]の結実確認と整備(掩体壕西・野間土手の東)  つる植物の除去・ササ刈り  個体番号札のメンテナンス  結実	5名
6	ナラ枯れ被害木の生存、枯死調査(南2区)   2020年に当園で初のナラ枯れを確認し、2023年から南2地区に限定してナラ枯れ被害木の生存・枯死を確認している。10/17に続き今年2度目の調査を行い予定範囲を終えた。 結果の詳細は後日別途報告する。 個体番号の付け替えも行った。	4名
7	ノジトラノオエリアの除草  ノジトラノオエリアは草地として保全している。次回活動日以降に冬期の全面機械刈りを予定しており、機械で刈れない木の根元や、希少種囲い内を手刈りした。	3名
8	チョウのモニタリング調査 気温が下がってきたが、開けたエリアで2種4頭を確認した。 (写真はございません) ヤマトシジミ 1 キタキチョウ 3 合計 4	3名
9	ワタラセツリフネエリアの公道沿い駐輪場の整備 雑草に覆われていた駐輪場の整備を行いました。  	2名
10	自然観察  クロウメモドキ  マガモ　奥が雌、手前が雄  シロダモ	